



特集

p2-3

松戸の地域・住民と
医療福祉を結び、
暮らしやすいまちをつくる。



p4-5__サポセンの事業報告

p5__[チャレンジャー]
ワークショップ・いふ

p6__Let's 体験!!
ふりかえり文集作成委員

p6__サポセン新規届出団体

p7__サポセンの講座・イベント情報

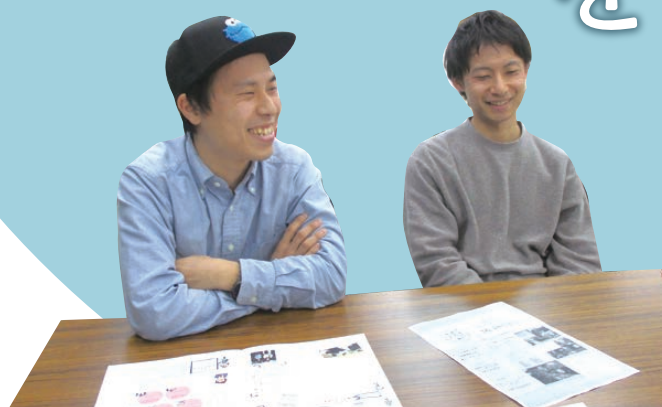
p7__[スタッフコラム]
10代が実証した地域での共生と自治

p8__[ある日のサポセン]
私のお悩み、どこへ行けばいい?

● 特集 ●

松戸の **地域** と **医療福祉** を結び、
住民

暮らしやすいまち をつくる。



秋本大輔さん

松村大地さん

医療福祉 × まつどの未来

一般社団法人

まつど地域共生プロジェクト

ミープロジェクト

Mi-Project

✉ info@mi-project-matsudo.com

医療・福祉の現場で活躍する 2人の若者の出会いから

理学療法士と作業療法士という、主に医療・福祉の現場で活躍する2人の若い男性が、昨年新しい団体を立ち上げました。松村大地さんと秋本大輔さん。業種が同じということもあり、いろいろなイベントで顔を合わせる「気になる存在」だったそうです。はつきりお互いを認識した初顔合わせは、昨年、松戸市市民自治課が主催した「まつど地域活躍塾」。松村さんはコーディネーターとして、秋本さんは塾生として参加し、「仕事も考えも近い人がいる」と紹介されました。

住民が社会とつながる 資源や場がもっとたくさん必要！

2人が高齢者支援の現場で感じていた共通の課題は「住民が社会とつながる資源や場がもっとたくさん必要だ」ということ。孤立した生活にならないために、駆け込むところ、相談するところ、情報を得られるネットワークが必要だということ。なおかつ「医療」「介護」「福祉」の間にある壁をなくし、連携していきたいという想いも共通していました。

はじめに松村さんの構想のもと、「認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつど」の全面的な協力や後押しで、一般社団法人まつど地域共生プロジェクト「Mi-Project（ミープロジェクト）」を設立。その後、秋本さんが加わり二人の考えや思いに沿って、少しずつ活動が固まってきました。



1

まつど暮らしの保健室



週1回、お茶を飲みながらケアマネージャーなどの専門家に健康や介護の相談ができたり、時にはミニ講座などがあるサロン。



活動の3本柱

3

Mi-Cheers! ミーチアーズ



「飲む」「食べる」を通じて多種多様な介護や医療、福祉に関心を持つ現場で働く現役世代の人が交流するネットワークづくりのための場。主に秋本さんが担当。地元密着でおしゃれな場にするここにこだわりがあり、これまで2回開催しています。

2

Mi-Study ミースタディ



学ぶための場です。
10月1日、第1回目のキックオフイベントを厚生労働省関係、ふれあいネットまつど、基幹相談支援センターの方をゲストに、松村さんが司会進行役でセミナー & トークイベントとして開催しました。



それぞれ1歳と2ヶ月のお子さんをお持ちの
パパでもあるお2人。これから目指すものを伺うと
「ボトムアップの挑戦」「新しい形の提案」と、
わくわくする言葉を聞かせてくれました。

多くの人を巻き込んでいきたい、と語る「Mi-Project」の活動が
地域で広がっていくことを期待したいと思います。

(コーディネーター・桑田)



report

まつどみらい会議 2017

1

新しい暮らしスタイルを見つける対話イベント ～松戸を手づくりで面白くしよう！～



自分たちが住みたい街のことや「こんなことがあったらいいよね」と感じていることを気軽におしゃべりしたり、地域で面白い活動をしている人たちと話せる「まつどみらい会議」(2017年12月10日開催)。今回はこれまでで最も人数が多い130名が参加し、はじめから最後までにぎやかな一日でした。

午後の「みらい会議」ではつづき掲示板に書かれたテーマをもとに話したい人が集まり、自分たちでどんなことができるかな?とアレコレ語っていききました。最後の投票タイムでは「松戸にフードバンクを作りたい!」が断トツ1位に、続いて「松戸市の子育てしやすい街1位ってどうなの?」や「公園を使って人をつなげたい!」のグループが上位になり、具体的な形にするための話し合いが続いています。

良い気づきと
素敵な仲間に出会えました!

色んな人と話し、
考えを聞く機会は
とても貴重でした。

子どもと一緒に
参加できる企画があって
行くことができました～

参加者
アンケートより
(一部抜粋)



今回は過去最多の
130人が参加
してくれました!



まつどみらい会議って??

「子ども達が思いっきり遊べる場所をつくりたい!」「ふらっと行けて近所の人と気軽に話せるカフェがあったらいいな!」「自分の空いている時間を使って何か楽しい地域のお手伝いができないかな?」そんな自分たちがほしい暮らしをいろいろんな人と話したり、実現するきっかけを見つけられる対話のイベントです。(年1回12月に開催)松戸での暮らしをもっと面白くしたい!と考えている方、次回をお楽しみに。

もう抱え込まない！ しんどくならない組織になろう

『もう抱え込まない！しんどくならない組織になろう』と題し、2017年11月5日(日)・26日(日)の2日間にわたり、NPOマネジメント強化セミナーを開催しました。セミナーのタイトルをご覧になった方からは、「一度見たら忘れな
い!」「そうそう、こういうのが知りた
かった!」といった反応を多くいただき、
いかに日々の活動の中で、一人で抱え込
んでしまっている方や、やりたくて始め
たのにだんだんと辛くなっている方が多
いかを、思い知らされました。

講師は、「場づくり」で有名なNPO法人
れんげ舎代表理事の長田英史さん。学生
時代から20年以上にわたり実践されてい
る、「異年齢集団」と「子どもたち自身の自
治」を柱にした子どもの活動経験から
見いだされた組織運営のノウハウを、あま
すところなくお話しいただきました。

同セミナーを受けた方の中から、希望
をいただいた3つの団体に対し、サポセン
コーディネーターによる伴走支援を実施
中です。セミナーで学んだことをもとに、
より目指したい組織の姿に近づぐべく、
挑戦は続きます!

←長田さんには著書『場づくりの教科書』(2016年：芸術新聞社)もあります。
気になる方はぜひこちらもご覧ください!サポセンにも配架してあります。



〈チャレンジャー〉
市民活動団体紹介

ワークショップ いふ

お問合せ

ワークショップいふ (担当=江澤容子)

✉ E-mail mei-cute...cheery-sparkie@docomo.ne.jp

☎ TEL 080-1324-7370

Challenger



「遊びたくなったら冗談を本気に
して徹底的に遊ぶ」をモットーに
月に1、2回遊ぶ会を開催!

昨年、当センターの調理室で、子ども
から大人まで大勢集めたマグロの解体
ショーを実施した当団体。元々は代表の
俳優や声優を目指す芝居仲間集団。
普段は、発声練習やお芝居の稽古をし
ているが、「遊びたくなったら冗談を
本気にして徹底的に遊ぶ」をモットーに
月に1、2回、仲間はもちろん、その知り
合いや家族などのつながりを通じて
大勢の人を集め遊ぶ会を開く。ここで
は子どもたちが様々な遊びを通して、
集団でのルールを覚えたり、知らない人
でも声をかけたり、面倒をみたりとい
う関係を自然に作れるようになるという。
様々な場面で「一言が出せる」ように
なって欲しい、と藤原さん。

誕生日祝いで大運動会、間BQOや斧で
のスイカ割りなどダイナミックな居場所
づくりのプロデューサー力に脱帽!実は
専門家ぞろい、目が離せない団体です。



←斧でスイカ割り!!



熱いぜ!! 俺たちの ボランティア魂

Let's 体験!!
ふりかえり文集
作成委員

前号でご紹介した「Let's 体験!!」の
様子をまとめた冊子を制作して
いる「ふりかえり文集作成委員」。

毎年Let's 体験!!の最後に呼びか
けを行い、集まったメンバーが9月から
自主的に会議を開き、制作しています。

継続メンバーはなんと最長6年!
新規メンバーに昨年の様子や、作るうえ
で大切にしていることを引き継ぎな
がら、和気あいあいと作成します。



大きくなったら
君も参加して
みてね!



今年のテーマは
何にしよう...

ふりかえり文集は、3月24日
の「みらいフェスタ」のプラレ
会場のブースでも配布します
ので、ぜひお手に取ってみて
くださいね☆



3月の「みらいフェスタ」に
も出展します!
※写真は昨年の様子です



テーマ決め～製本まで
自分たちで創り上げます。

今回は中学生の頃から5年間、
イラストを担当している
「うっちー」の
漫画ページを一部ご紹介!



↑主人公がボランティアを通してどう成長していくのか...を表現するのに悩みました!!
ボランティアで真面目に8Pも漫画を描くなんて初めてでした(笑)。



今年の漫画は
私の5年間の
集大成です!

漫画・うっちー



**サポセン
新規届出団体
を紹介します!**
(2017年11月16日
～2月14日
届出順・敬称略)

- ★New Connection ★葉ヶ沢中学校地域防災委員会
- ★動物共生推進事業「ペットと暮らそう」 ★My Time ★夏日俳句会
- ★国際医療福祉大学市川病院メディカルセミナーチーム
- ★mama Raku松戸 ★NPO法人トリプレッタスポーツクラブ
- ★千葉県エスキーテニス連盟 ★陣が前わいおい食堂
- ★心スッキリ☆私にあったお片づけを見つける会
- ★施設図書室 蒼氓と紙片 ★SMILE KIDS ★半目半

サポセンの講座・イベント情報

「みらいフェスタ2018」
 ～こどもは、みらい。～

見て、話して、遊んで、食べて、
 松戸の優しさを発見してみませんか？

松戸の暮らしに役立つ情報に出会える
 &子ども・若者・高齢者・障がい者にとっ
 て「やさしいまつど」を体験できる！

「みらいフェスタ」は、子どもも大人も、
 誰もが住みやすい、よりよい未来・まちづ
 くりに向けて取り組んでいる活動やNP
 Oについて身近に体験できるイベントです。

日時 3月24日(土) 10時半～15時半

内容 キッズダンスなどのステージ、
 工作&体験コーナー、
 ゲームやクイズ、飲食販売など

場所 松戸駅西口デッキ、松戸西口公園、
 アトレ松戸8F催事場、
 松戸駅東口デッキ、
 フラール松戸6F・屋上



Let's 体験!!2018 ボランティア受入れ団体募集

多世代交流とつながる「学生ボランティアの場」に、
 ご協力ください！

★仮エントリー…4月中旬

★受入れ団体説明会…4月下旬

10代が実証した 地域での共生と自治

「学校から出る音がうるさいー」という地域の声。
 演奏や応援団の練習をしたいという高校生の想い。
 まちの中の意見の違い、苦情を乗り越えたのは、
 高校生の発信でした。
 放送コンテスト優勝作品の題材から、解決のカギを掘り下げます。

昨年2017年7月に開かれた、第64回
 NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会。
 各高校の放送委員会が競って投稿する映像
 作品の中で優勝したのが、長野県立松本深
 志高校の作品でした。取り扱った新聞記事
 はウェブ上で読めます。(18年2月現在)

題材は、学校と騒音問題。吹奏楽部の演奏
 や応援団の練習が近隣から苦情が入ったこ
 とをきっかけに、顧問の後押しを受け、周辺
 5町会の会長たち9人と、生徒代表10人、そ
 して、校長と教頭が立ち会う「地域フォーラ
 ム鼎談深志」という協議会が始まりました。
 高校生が近隣住民と対話し、相互の主張を
 認めて共に調査し、試行錯誤しながら高校
 生の活動環境を調整しています。

長野県松本市は人口24万、人口こそ松戸
 市の半分ですが、高齢化率と15歳未満の割
 合はほぼ同じ。鼎談深志の映像を見ても、子
 育て世代が圧倒的に多いから意見が通りや
 すい、ということではなさそうです。
 多様化する地域課題。ときにはこのケース
 のような利害が対立することもあります。



副センター長 小熊浩典

コンテスト作品の視聴はこちらから！
 長野県松本深志高等学校
 『鼎談深志』



<https://goo.gl/PN8pGp>

皆さんにサポートセンターのことや市民活動のことをもっと知ってもらうために、これまでにご寄せられたご質問や実際の出来事などをもとに、仮想のストーリーに仕立てた「Q&A風」のコーナーです。

私のお悩み、どこへ行けばいい？

サポセンに買い物帰りに立ち寄ってみた話、主婦のEさん。高齢者向けのイベントや通いの場のチラシを眺めていましたが、どうやら悩んでいるようです。

何かお探しですか？
Eさん
同居している義父が最近ちょっと違和感のある行動をとるようになったので、もしかして認知症？
コーディネーター

私も数年前に結婚して松戸に住み始めたので、どこに何がわからないんです。
「高齢者いきいき安心センター」や、認知症の理解を深めるセミナーを開いているNPOの方とお話してはいかがですか？
お繋ぎしますよ。

でも、私には知識がないので決めつけるのも良くないし、かといってどうすればいいかも…。
大人しい性格から怒りやすくなったり…
水の締め忘れ・物忘れが多くなったり…
物を探すことが多くなったり…
これって、もしかして…??
相談できる場に行きたいんですが病院に行くのを嫌がるので…。

そんな人たちがいるのね！
お願いします！

あ、相談できる人が見つかったほっとした…！
およろしく！
お願いします！

困っていても相談相手がわからない…一人で情報を見つけるのって、意外と大変ですね。そんな時でも、サポセンのコーディネーターが次に進む一歩をあなたと一緒に探して、つなぐお手伝いをします♪

サポセンニュースレター 2018年啓蟄・第11号



発行日：2018年3月15日(※年4回発行)
発行元：まつど市民活動サポートセンター(指定管理者 NPO 法人まつど NPO 協議会)
デザイン：トクナガリツコ

- 「ぼっく」の主な設置場所
松戸市内の図書館、市民センター、公民館など各種公共施設の他、松戸駅自由通路に設置しています。
- 「ぼっく」設置協力店
フェリーチェ(松戸新田)/デジラボ(本町)/Sampo Café(八ヶ崎7丁目)/古民家ホームシェア co-no-mi(吉井町2丁目)

「ぼっく」の配架にご協力いただけるお店・施設を募集します!

ニュースレター「ぼっく」を、お店や施設に配架していただけませんか？ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介します。もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。広告掲載も募集中です。詳しくは、まつど市民活動サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。

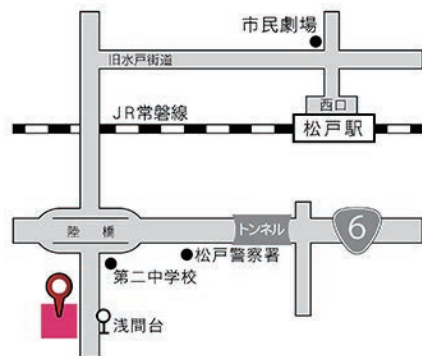
編集後記

無になれる時間…
今何より貴重です。どんな瞬間でしょうか…
私は今のところ、ペットのハムスターの砂浴び用の砂を取り換えている瞬間です。(き)



まつど市民活動サポートセンター

〒271-0094 松戸市上矢切 299-1(総合福祉会館内)
TEL : 047-365-5522 FAX : 047-365-5636
E-mail : hai_saposen@matsudo-sc.com
URL : <http://www.matsudo-sc.com/>
facebook : <https://www.facebook.com/matsudo.sc>



◎開館時間：月曜～土曜…9時～21時
日曜…9時～17時
◎休館日：第1・第3水曜、年末年始(12/29～1/3)